

自由こそ治療だ



むかしMattoの町があった

自主上映会 in ぎふ各務原

監督：マルコ・トゥルコ 製作：クラウディア・モーリ

2015年9月13日(日) 13:00~16:30 (開場 12:30~)

第1部96分 第2部102分 (途中休憩あり)

中部学院大学 各務原キャンパス 1101教室

資料代 1,000円

イタリア精神保健改革の最初の20年を描いた素敵なイタリア映画が日本で上映されます。題名はC'era una volta la città dei matti。邦題「むかしMattoの町があった」。イタリア語のmattoは狂気をもつ人、「Mattoの町」は精神病院を意味します。

イタリア国营放送RAIが作ったこの3時間の大作は、2010年にイタリアで1時間半ずつ二夜連続で放映され、21%以上の高視聴率でした。その後、ヨーロッパ各地で、南米のブラジルやアルゼンチンで、トルコで、イランで、自主上映運動が展開されています。

日本では「バザーリア映画を自主上映する180人のMattoの会」がRAIから上映運動の許可をもらい、上映活動を行っています。2012年から現在まで全国各地で150回以上の自主上映会が開催されています。

主催：ぎふ各務原でバザーリア映画を自主上映する会
バザーリア映画を自主上映する180人Mattoの会
共催：地域連携ネットワーク・アンダンテ
後援：各務原市 各務原市社会福祉協議会 岐阜大学
中部学院大学 生活協同組合コープぎふ
岐阜県民主医療機関連合会
NPO法人さわやか伝言ばん NPO法人つむぎの森
岐阜県精神保健福祉士協会 イタリア大使館
協力：株式会社グリーンスマイル RAIフィクション
フランカ&フランコ・バザーリア記念財団
トリエステ精神保健局

お問合せ先：
ぎふ各務原でバザーリア映画を自主上映する会
E-mail : matto.mippara@gmail.com
電話番号 : 070-5019-0882 (担当：太田)

Facebookページ
<http://www.facebook.com/matto.gifu.kakamigahara>
「バザーリア映画を自主上映する180人のmattoの会」
<http://180matto.jp/>

「むかしMattoの町があった」自主上映会 in ぎふ各務原

ご案内

「自分らしく生きていきたい」これは誰もが当たり前に願うことです。食べたいものを食べる。住みたい場所に住む。一緒にいたい人と暮らす…。しかし、様々な困難を抱えることで、まるで社会からはじき出されてしまうかのようにその当たり前が奪われてしまうことがあります。あなたはどんな困難を思い浮かべますか？

精神障がいを持つこともその困難の一つでしょう。イタリアでは精神障がいを持っていてもその人が自分らしく当たり前に暮らしていける仕組みを作りました。今から30年以上前のことです。

「どんな困難を抱えていても自分らしく生きる」決して簡単なことではありませんが、この映画はそれが不可能ではないのだと私たちを勇気づけてくれます。ぜひたくさんの方にこの映画を観ていただき、困難に立ち向かう思いを共有したいと思います。

申込方法

「お名前」「ご所属」「ご連絡先」を記入の上、ファックスまたはE-mailでお申し込みください。

複数名で申し込みの方は備考欄に代表者以外のお名前をご記入ください。

定員は400名です。先着順で締切とさせていただきます。

E-mail : matto.mippara@gmail.com
Fax : 058-389-5141

参加費

資料代として1,000円をお願いします。

Story

主役は3人。イタリア精神保健改革の父、フランコ・バザーリア。アメリカ進駐軍に陵辱された女性から生まれたマルゲリータ。旧ユーゴでファシストに蹂躪されて家も肉親も失ったボリス。1961年、ゴリツィア県立精神病院長に赴任したバザーリアは、小さな檻に閉じ込められていたマルゲリータに顔を近づけたとたん、唾を吐きかけられます。独房のベッドに15年も縛り付けられているというボリスを回診すると、屈強な看護師たちがボリスの汚れた股間に、ホースで水を掛けています。バザーリアは、ゴリツィア病院の収容所臭さをなくすことに心血を注ぎます。

1971年、バザーリアはトリエステ県知事から県立サンジョヴァンニ病院長になってほしいと口説かれ、「思い通りにやらせること」を条件に引き受けます。マルゲリータもボリスも、今度はサンジョヴァンニ病院の入院者として登場します。やがて病院は、24時間オープンな町なかの精神保健センターに全機能を移します。1978年、イタリア中の精神病院を廃止する180号法が成立。マルゲリータもボリスも紆余曲折を経て人間として復権。しかしバザーリアは脳腫瘍で死の床につきます。

会場案内



申し込み用紙 <FAX送信先 058-389-5141>

お名前	
ご所属	
ご連絡先	
備考	